

もりのにぎわい通信

2025年12月13日 定例活動報告

日時：2025年12月13日（土）9:00～12:00

場所：小山町 観音地

天候：晴れ時々曇り 気温 6～9.6°C 湿度 52% 風向 北北西 風速 2.4m/s

参加者：21人：子ども3人、大人18人（内土地改良区0人）

■活動

9:00 集合

9:30 作業開始、枝の剪定作業（カキ、クリ、ウメ、モミの木）

10:30 休憩

作業再開、寒肥、除草作業、シイタケの収穫

12:00 片付け・解散

■活動報告

12月13日、昨日に比べ急に寒くなり、今夜から明日の朝にかけては雨天と変わり雪になるかもしれないとの天気予報です。ラッキーにもその直前の比較的の風も穏やかで日差しのあるまだ我慢できる冬の日でした。ご参加いただいた方には本当に感謝です。

まず、剪定もしくは枝落としの作業を、加えて若干の間伐を行いました。グループをカキの木、クリ・プラムの木、モミの木、ウメの木担当のチームを作り4つに分けました。特にカキとクリについては樹が好き放題に伸びてしまうと収穫が難しくなってしまうので、上を短くつめてなるべく横に広がってもらうようにしました。すでにかなり高くなっていますので一番高い脚立を使い作業しました。素人には難しい危険もともなう作業なので慎重に行いました。モミの木はクリスマスツリーらしく手入れできる最後のチャンスだったかもしれないのでクリスマスツリーらしく見えるよう頑張りました。ウメの周辺にはクルミが大分くっついて成長してしまったのでクルミには気の毒でしたが間伐ということになってしまいました。樹が大きくなるとこういうことも必要になってしまいます。皆、配られた「不要な枝の種類」というパンフレットを見ながら、内向枝・立ち枝・交差枝・車枝・並行枝・徒長枝・ひこばえ・下り枝・幹吹きなどのどれに当たるか当たらないのかツツツといながら悩みました。植木屋さんも難しいですね。でも美観の問題だけでなく、樹が大きくなって枝がぶつかりあったりしていると刈払機などが入れず手入れの邪魔になるので必須作業なのです。

休憩後は寒肥を施すチーム、刈払機を使うチーム、子供たちを連れてシイタケを収穫するチームに分け作業しました。刈払機は5台稼働しました。シイタケが先月の22日に収穫したのに、またニヨキニヨキ出ていて皆さんのお土産になるくらいには収穫できました。

最後に子供たちが剪定したモミの木にクリスマスツリー飾って一足早いクリスマスを祝っていました。

ところで先日読んだ本によると、樹の成分であるリグニンを効率よくしっかりと分解できるのはシイタケ・ヒラタケなど白色腐朽菌くらいなのだそうです。リグニンが分解されないと、木は「骨格が残ったまま」になり、微生物も物理的に崩せなくなるため、樹木は長期間“形を保ったまま”残ります。セ

ルロースが鉄筋、リグニンがコンクリートに相当するといった比喩がよく使われるそうです。石炭はシイタケなどが登場する前の遺物だという説さえあるそうです。シイタケって凄いんだと感動さえ覚えます。

そのうえ美味しいって素晴らしいですよね。お昼に用意していただいた“八戸せんべい汁”にはここでとれたシイタケがたっぷり入っていましたし美味しかったですね。入っていた八戸せんべいは本当に八戸から取り寄せたものだそうです。直近の地震に苦しむ東北の少しでも応援になれたらいいですね。皆さん、お疲れ様でした。また来年もよろしくお願ひします。

(記録: 金井 章男)

お知らせホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、1月24日（土）（雨天の場合1月25日（日））9:00～12:00

除草作業、クズの蔓切、枝の剪定作業などを行う予定です。興味のある方は奮って参加下さい。



集合写真



寒いので焚火を用意



受付

作業説明及び注意事項



作業開始



カキの剪定作業



モミの木の剪定作業



プラム剪定作業



ウメの剪定作業



クルミの木の伐採



休憩



焚火で暖をとる



刈払機による除草作業



寒肥を施す作業



クリスマスツリー完成

三人は森のプリンセス



八戸せんべい汁の準備



美味しいそう！



寒い日は鍋が最高！